

2026年度 7月 1日



# オ リ ー フ 通 信

探しなさい。そうすれば、見つかる。

マタイによる福音書 7章 7節

神愛保育園

## 「保育参加を通して」

雨の多い時期は、大人にとっては少し憂うつに感じられることもありますが、子どもにとっては、嬉しい時期でもあるようです。各ご家庭の連絡帳を拝見していると、ベビーカーのカバーに落ちる雨粒の音や、カバーの上をツーッと流れる様子を楽しんでいたり、雨が降っていなくても傘をさして長靴を履きたがる姿があったりと、ほほえましいエピソードに出会います。雨の季節だからこそ楽しめることがあるのだと、改めて感じました。

水たまりや雨上がりの自然など、雨の日ならではの発見や体験を楽しみながら、季節を身近に感じられる保育を大切にしていきたいと思います。また、あじさいの花やかたつむり、雨上がりに聞こえる鳥の声など、この時期ならではの自然との出会いも子どもたちにとって貴重な経験です。子どもたちの「なんでだろう?」「見てみたい!」という気持ちを大切にしながら、さまざまな発見につなげていきたいと思います。

さて、5・6月は保育参加月間でした。ご参加いただいた皆様、お忙しい中お時間を作ってください、ありがとうございました。保育参加は子どもたちにとって、とても楽しい行事の一つです。特に幼児クラスでは、「明日、ママとパパが保育参加なんだ〜」「散歩に行くんだよ!」等、当日を心待ちにする声がたくさん聞かれました。

実際に当日を迎えると、お母さんやお父さんにべったりとくっついて甘える姿や、お友だちとの遊びに夢中になる姿など、一人ひとりが様々な表情を見せてくれていました。保護者の皆様には、元気な子どもたちと一緒に遊んでもらったり、我が子だけでなくお友だちの手助けをしていただいたりと、保育者にとっても大変心強い一面もたくさんありました。参加された保護者の方からは、「普段見ることのできない園での姿を見ることができて嬉しかった」「友達との関わりや成長を感じられた」との感想が聞かれました。保育園という集団の中で、子どもたちがどのように生活しているのかを、肌で感じていただける貴重な機会になったのではないかと思います。

また、保育参加後に個人面談も行っています。ご家庭での悩みや気になることとお話しいただいたり、お子さんの成長や発達について一緒に確認したりするなど、有意義な時間となっています。園と家庭が互いに子どもの姿を共有し、成長を喜び合うことで、よりよい関係づくりにつながっていくと感じています。次回の保育参加は10・11月となっていますので、ぜひご参加ください。

園長 大滝忍



# ひだまり

～地域の親子と園児の交流～



梅雨はまだ続いています、暑い日々も増えて夏の訪れを感じますね。  
今年は酷暑との予報もあり、熱中症に気を付けていきたいですね。



母親講座「親子ヨガ」を森下文化センターにて開催。8組の親子が参加してくれました。参加者からは「体の力がふっと抜けた感じがあり、リフレッシュできた」「“信号待ち”や“歯磨きしているとき”に行ってみてくださいと実際に実行することが想像できる動きを教えてもらえた」「意識していない体の部分に気付いて、生活の中で伸ばしたり、触ったりしてみます」などの感想がありました。

ゴールデンウィーク明けに苗植えた、なす・枝豆・大葉がずいぶん大きくなってきました。遊びにきた親子が野菜の成長に興味を持ち、水やりをしてくれています。大葉は収穫して何度か持ち帰ってもらって好評です。



## 保健だより 2026年7月



6月7日梅雨入りしました。気温の上下もあり、体調管理・服装選びに注意されている事と思います。園では、熱気球計の暑さ指数を参考にしてプールを含めた屋外活動を行っています。

**【歯科検診】**6月17日(水)歯科検診がありました。子どもたちは、上手に口を開けて検診を受けることができました。検診では、むし歯だけでなくかみ合わせや歯周の状態を診てもらいましたが、磨き残しがあり経過観察のお子さんもいました。お配りした結果をご覧ください、受診が必要な場合には早めの歯科受診をお願いいたします。園では、歯ブラシによる事故を防ぐため歯磨きを行っていませんが、歯みがきの習慣づけがむし歯予防の第一歩です。ご家庭で毎食後すぐに磨く習慣をつけ、むし歯予防のために磨き残しのないよう保護者の方による仕上げ磨きをお願いいたします。

〜〜 むし歯になりやすい歯はどこ？ 〜



3歳までは上の前歯がむし歯になりやすく、とくに歯と歯の間や歯のつけ根に注意が必要です。

3歳をすぎたら、奥歯のみぞや奥歯と奥歯の間に注意しましょう。

5〜6歳ごろには、「六歳臼歯」が生えてくるので、見逃さないようにチェックして、より丁寧なケアを心がけてください。

### 【気になる初夏の皮膚病】

◆水いぼ◆粟粒大のいぼで、おなかや肘、脇の下などにできて広がります。プールには入れますが、いぼがある部分を覆うラッシュガードやTシャツ・長ズボンなどを着用して活動します。ご協力をお願いいたします。

◆とびひ◆全身にとぶように広がるのでとびひと呼ばれます。「傷がじゅくじゅくしている」というのが始まりで、痒みも強いです。このような症状があれば、早目に皮膚科受診をお願いします。とびひの場合には、プールには入れません

各クラスの食育活動を紹介します！！それぞれの年齢に適した食育活動を行っています

**つくし組**

とうもろこしの皮むきをお手伝いしてくれました。  
初めは不安そうな表情でしたが、少しずつ興味を示し、  
皮やひげ、実のでこぼこの感触を楽しんでいました！



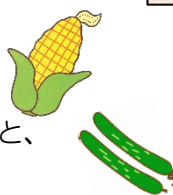
**たんぽぽ組**

白菜ちぎりをしました。とても上手に  
できました！味噌汁に入っているのを見つけると、  
「白菜！」と言いながら食べていました！



**もも組**

とうもろこしの皮むきをしました。  
初めは苦戦していましたが、コツをつかむと、  
一人でむくことができていました！

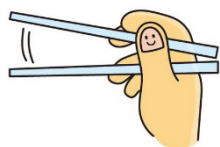


**ちゅうりっぷ組**

栽培していたきゅうりが立派に実り、それを目の前で  
サラダにしました。切りたてのきゅうりのにおいを  
かいでみたり、新鮮なパリパリ食感も楽しみました！



**ひまわり組** 年中はお箸の使い方を学びました。年長は包丁を使い、じゃが芋を切ってクッキングしました。



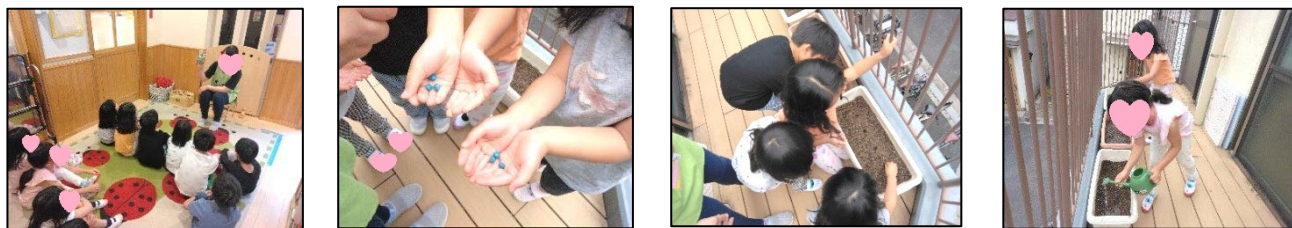
年長はフライドポテトを作りました。  
約束を守りながら包丁で上手に切る事ができました。  
揚げている音を聞いたり、においをかいだり。  
揚げたてのポテトは最高でした♪



年中はお箸の使い方を学びました。  
みんな、真剣に話を聞いていました。翌日からは、  
お箸を上手に使って食べています！



また、年長クラスでは、枝豆の栽培から加工までをやってみるという活動も行っています。種まき→お世話→  
収穫→そのままを味わうところから、潰してずんだにしてみたり、乾かして大豆の収穫→きな粉を作る→乾燥大豆  
からの豆腐作りまで、一つの食材から色々な食品へと加工する予定です。昨年度は枝豆を上手く育てることが出来  
なかったので、今年度は豆腐作りまで出来たら良いと考えています。毎日、お世話を頑張ってくれているおかげ  
で、すくすくと育っています。今後の収穫がとても楽しみです！





# ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。  
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、  
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを  
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2026年 6月 10日(水) 天気 晴れ 組(ひまわり組)

## 「思いに寄り添う」

今日はAとBの保育参加があった。  
食事の際にCが、苦手なものを減らしたいと言えずに悲しくなってしまう、「ととがいい」と泣き出してしまった。すると近くにいたBやDが「私をママだとおもったらいいよ」「減らしたいの？」などと優しく声を掛ける姿が見られた。また、Cが泣いている姿を見て、Eも不安定になってしまったが、年長児の優しい声掛けによって安心して食事を食べ始める姿が見られた。異年齢の関わりを通して他児と関わる楽しさや安心を感じていけるように環境を整えていく。

今回の日誌から、子ども同士の思いやりや異年齢での関わり大切さが見られました。Cは苦手な食材を減らしたい気持ちはあったものの、自分の思いを言葉で伝えることが難しく、不安な気持ちから「ととがいい」と涙を流しました。自分の思いを伝える力は発達段階に応じて育っていくものであり、安心できる環境や受け止めてもらえる経験を積み重ねることが重要です。そのような中、近くにいた年長児のBやDが「私をママだと思ったらいいよ」「減らしたいの？」と相手の気持ちに寄り添う優しい言葉を掛けていた姿は、日頃の異年齢保育の積み重ねや思いやりの育ちが表れているのだと思います。また、Cの様子に影響を受けて不安になったEも、年長児の穏やかな関わりによって安心し、再び食事に向かうことができました。年長児の存在は年下児にとって安心感やモデルとなる役割を果たしており、異年齢ならではの育ち合いが感じられる場面でした。今後も子ども同士が自然に支え合い、互いの思いに気付きながら安心して生活できるよう、保育者も一人ひとりの気持ちを丁寧に受け止め、異年齢で関わる機会や環境を意識的に整えていきたいと感じました。

## 【財務情報等の公表】

施設種別	認可保育所	設置主体	社会福祉法人 雲柱社	事業所名	神愛保育園
------	-------	------	------------	------	-------

## 施設の収支【令和7年度実績】

	科目	前年度	当年度
事業活動による収支	委託費収入	123,358,730円	136,620,270円
	東京都保育士等キャリアアップ補助金収入	9,281,000円	10,019,000円
	東京都保育サービス推進事業補助金収入	5,121,000円	6,474,000円
	その他の補助金収入	78,260,462円	80,327,243円
	利用料収入	1,500円	340円
	その他の収入（寄付金収入、雑収入等）	3,330,865円	3,525,102円
	事業活動収入計（1）	219,353,557円	236,965,955円
	人件費支出	166,974,109円	189,856,197円
	職員給料支出	111,844,617円	127,959,340円
	職員賞与支出	23,697,994円	25,591,029円
	非常勤職員給与支出	7,907,792円	9,308,784円
	派遣職員費支出	0円	0円
	退職給付支出	1,916,948円	3,587,520円
	法定福利費支出	21,606,758円	23,409,524円
	事業費支出	18,358,258円	18,884,080円
	給食費支出	6,971,674円	7,237,353円
	保健衛生費支出	233,888円	219,479円
	保育材料費支出	2,863,819円	3,373,852円
	水道光熱費支出	3,319,269円	3,278,923円
	消耗器具備品費支出	1,756,603円	1,459,964円
	その他の支出【保険料支出、賃借料支出、地域活動事業費支出】	3,213,005円	3,314,509円
	事務費支出	19,687,003円	28,123,411円
	福利厚生費支出	771,049円	661,291円
	旅費交通費支出	110,300円	77,979円
	研修研究費支出	751,834円	922,516円
	事務消耗品費支出	390,323円	352,292円
	印刷製本費支出	28,696円	34,105円
	水道光熱費支出	366,970円	364,147円
	修繕費支出	495,052円	3,398,004円
	通信運搬費支出	936,647円	965,692円
	広告費支出	377,579円	288,735円
	業務委託費支出	2,582,990円	3,522,960円
賃借料支出	2,601,626円	2,615,114円	
土地・建物賃借料支出	4,920,000円	6,132,729円	
租税公課支出	600円	0円	
その他の支出【職員被服費支出、手数料支出、保険料支出、保守料支	5,353,337円	8,787,847円	
事業活動支出計（2）	205,019,370円	236,863,688円	
事業活動資金収支差額（3）=(1)-(2)	14,334,187円	102,267円	

施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	292,000円	0円
	設備資金借入金収入	0円	0円
	その他施設整備等による収入（寄附金収入、固定資産売却収入等）	0円	0円
	施設整備等収入計（4）	292,000円	0円
	設備資金借入金元金償還支出	4,188,000円	4,188,000円
	固定資産取得支出	630,520円	501,842円
	その他施設整備等による支出	1,334,916円	1,336,908円
	施設整備等支出計（5）	6,153,436円	6,026,750円
	<b>施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5）</b>	<b>-5,861,436円</b>	<b>-6,026,750円</b>
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	515,580円	5,724,780円
	事業区分間・拠点区分間・サービス区分間繰入金収入	0円	0円
	その他の活動による収入	0円	0円
	その他の活動収入計（7）	515,580円	5,724,780円
	積立資産支出	4,478,808円	1,535,388円
	事業区分間・拠点区分間・サービス区分間繰入金支出	0円	0円
	その他の活動による支出	0円	0円
	その他の活動支出計（8）	4,478,808円	1,535,388円
	<b>その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）</b>	<b>-3,963,228円</b>	<b>4,189,392円</b>
	<b>当期資金収支差額合計（10）=（3）+（6）+（9）</b>	<b>4,509,523円</b>	<b>-1,735,091円</b>
	<b>前期末支払資金残高（11）</b>	<b>6,671,134円</b>	<b>11,180,657円</b>
	<b>当期末支払資金残高（10）+（11）</b>	<b>11,180,657円</b>	<b>9,445,566円</b>

#### 施設データ

項目	前年度	当年度
定員	80人	80人
在籍児童数（4月1日時点）	71人	72人
保育従事職員数（4月1日時点）	36人	40人
職員の平均経験年数	9年	11年
事業活動収入（1）・・・①	219,353,557円	236,965,955円
人件費支出・・・②	166,974,109円	189,856,197円
<b>事業活動収入に対する人件費の割合 ②÷①×100</b>	<b>76.1%</b>	<b>80.1%</b>